

# 幌別小学校と幌別東小学校の統合に関する学校統合委員会 第2回幌別東小学校区検討部会 議事録

**日時** 令和4年8月5日（金）18時00分

**会場** 鉄南ふれあいセンターホール（3F）

**出席者** （委員）

齊藤委員、赤坂委員、山田委員、鳴海委員、竹中委員

（事務局）

堀井部長、中島参与、館下次長、近間総務 G 総括主幹、西川原学校教育 G 総括主幹、中井学務主幹、蓬田主査

（学校関係者）

柴田校長（幌別小学校）、猪子校長（幌別東小学校）

**○部会長** 時間となりましたので、これより、幌別小学校と幌別東小学校の統合に関する学校統合委員会の第2回幌別東小学校区検討部会を開催いたします。

前回は、事務局より部会の運営方法について説明した後に、統合にあたっての環境整備に関し、具体的な協議に入りました。

協議事項としては、「幌別東小学校区からの通学路について」と「踏切への対応について」の2点でありましたが、このうち「踏切への対応について」は、登下校時に交通安全指導員を配置すること、学校や家庭における交通安全教育を徹底することで、部会員の皆さんからご理解を得たところです。

また、「幌別東小学校区からの通学路について」は、教育委員会より、JR 幌別駅自由通路と鉄南ふれあいセンター付近踏切を線路の横断箇所とする原案の提示がありましたが、これに対し、部会員の皆さんからは、JR 幌別駅自由通路は安全面で不安があることから利用せず、代わりに小原製麺所付近踏切を横断箇所にするべきとの要望がありました。

この要望に関しては、教育委員会が一度持ち帰って検討した後に、今回あらためて通学路に関する考え方を示すとのことで終了したところです。

今回は、その検討結果も含め、教育委員会から説明を受けた後に、幌別東小学校区からの通学路に関し再度協議することになりますが、その前に、前回会議で部会員から質問のあった登下校時間帯の踏切の遮断状況に関し、事務局で資料を用意しているとのことですので説明をお願いします。

○事務局 (事務局より資料に基づき説明)

○部会長 事務局より、「鉄南ふれあいセンター付近踏切の遮断回数及び時間について」説明がありました。これに関し質問はありませんでしょうか？

○委員 通学をする時間帯ですが、おおまかにどの時間がピークになりますか？

○学校関係者 本校の場合、玄関が開くのが7時50分で、登校時間は8時10分までとなります。登校する子どもの数は7時50分から8時ぐらいが一番多いと思います。

○部会長 登校時間にぶつからないように踏切が遮断するということはあるので、早めに家を出るよう心がけてもらうことが必要だと思います。もうひとつは踏切には指導員が配置されることとなりますが、基本的に同じ方が配置されることが望ましいと思います。

○委員 これはJR北海道からの提供資料ということでよろしいでしょうか？

○事務局 JR北海道からの提供資料になります。数字としては、平均ということではなく、ある一日のデータということです。平日に関しては、旅客列車、回送列車、貨物列車、いずれも同じダイヤで動くとのことですので、日によって多少のズレはあるとしても、これを基本に考えていただいて問題ないものと思います。

○委員 出来れば、ダイヤの乱れで遮断時間が長くなることもあり得ますので、それが原因で遅刻するということもあると思います。早めに家を出る習慣というのも必要

ですが、そうしたやむを得ない事情で遅刻する場合には、厳しい指導をしないよう学校側には配慮してもらえればと思います。

**○部会長** 他にありませんでしょうか。無いようですので、続きまして会議次第3は協議事項です。協議事項「(1) 幌別東小学校区からの通学路について」、前回会議における部会員からの要望事項への対応も含め、教育委員会で再検討した内容に関し、事務局で資料を用意しているとのことですので、これに関し説明をお願いします。

**○事務局** (事務局より資料に基づき説明)

**○部会長** 「幌別東小学校区からの通学路について」、教育委員会であらためて検討した内容に関し説明がありました。教育委員会及び学校としては、線路内の道幅の狭さ、踏切横断後の道路の状況などから、小原製麺所付近踏切については推奨できずとのことですが、一方で、幌別中学校においては、通学路として利用されており、兄弟姉妹との通学も想定されることから、一概に通学路の基幹ルートから外すことにも迷いがあるとのこと、部会員の皆さんの意見も踏まえて検討したいとのことでした。これに関し質問や意見などはありませんでしょうか？

**○委員** 小原製麺付近の踏切の道幅の狭さに関しては私も認識しています。ただ、指導員が配置されるということですので、指導員にしっかり配慮してもらえれば大丈夫ではないでしょうか。踏切横断後の道路については、統合までまだ2年ありますので、歩道の確保等を検討してもらえればと思います。踏切の幅を広げるのは、JR北海道との調整もあり、相当にハードルが高いと思いますが、踏切横断後の市道については、歩道の確保などについても検討してもらえればと思います。

**○委員** 先程の映像を見ると、車の横断時に同時に歩行者が横断するのは難しいものと思われしますので、指導員の方には、その時々状況により、車が通過した後

に歩行者が横断するように指導することなどを徹底してもらえればと思います。また、小学生の通学路になっている旨の立て看板の設置なども検討する必要があると思います。

**○委員** 歩道の確保などについては、結局のところ現時点で確約されたものではありませんので、基本的には保護者が安全性を考えて、通学路として利用するかどうかを個々に判断する必要があると思います。学校として通学路にすることを認めないということではなく、利用することは認めた上で、保護者が責任を持って判断する必要があると思います。

**○学校関係者** 通学路の安全確保という観点で言えば、学校の立場としては、鉄南ふれあいセンター付近の踏切を推奨したいと思います。ただ、中学校の通学路になっておりますし、指導員も配置されるということですので、通学路としては認めつつも、実際に利用するかどうかは、各ご家庭で判断していただくことになろうかと思います。

**○委員** そのような取扱いで問題ないものと思いますが、例えば自分の子どもが小学校に入学したてだった場合、指導員が配置されていたとしても、小原製麺所付近の踏切を通学路として使わせることはないと思います。やはり、保護者が子どもの学年などを踏まえて判断するしかないと思います。

**○事務局** 考え方を整理しますと、通学路の基本ルートとしては、鉄南ふれあいセンター付近と小原製麺所付近、2カ所の踏切をお示ししますが、学校及び教育委員会としては、鉄南ふれあいセンター付近の踏切を利用することを推奨しますので、いずれの踏切を利用するかは、お子様の状況を勘案して、保護者に判断いただくということになろうかと思います。

**○部会長** いま事務局から説明のあった内容でよろしいでしょうか？

## (異議なしの声あり)

**○部会長** 異議なしの声がありましたので、そのように整理いたします。本日は、「幌別東小学校区からの通学路」について、前回に引き続き議論を行ってきました。通学路のあり方に関しては、部会として考え方をまとめられたものと思います。次回も引き続き、課題への対応方法などに関し、その詳細を議論していきたいと思いますが、具体的なテーマに関し事務局より説明をお願いします。

**○事務局** 次回の部会では、「徒歩通学困難地域からの通学方法」と「遠距離通学費補助制度」に関し、具体的な協議をお願いしたいと考えております。その際には、地区別検討委員会で継続協議となった部分も含め、事務局より教育委員会の考え方をお示し、これについて部会員の皆さんからご意見を伺いたいと思っております。

**○部会長** 事務局より、次回の内容などについて説明がありましたが、これに関し委員の皆さんから質問などはありませんでしょうか？

## (なしの声あり)

**○部会長** 最後に会議次第4の「その他」について、事務局より何かありますでしょうか？

**○事務局** 次回の部会については、9月9日金曜日、時間は本日同様18時から、場所についても本日同様、鉄南ふれあいセンターホールを予定しております。具体的な内容に関しては、後日、事務局より連絡させていただきます。

**○部会長** その他、委員の皆さんから何かありませんでしょうか。無いようですので、これで「第2回幌別東小学校区検討部会」を終了します。皆さん、長時間にわたりありがとうございました。